

2022年2月期 第2四半期決算補足資料

JNSホールディングス株式会社
2021年10月14日





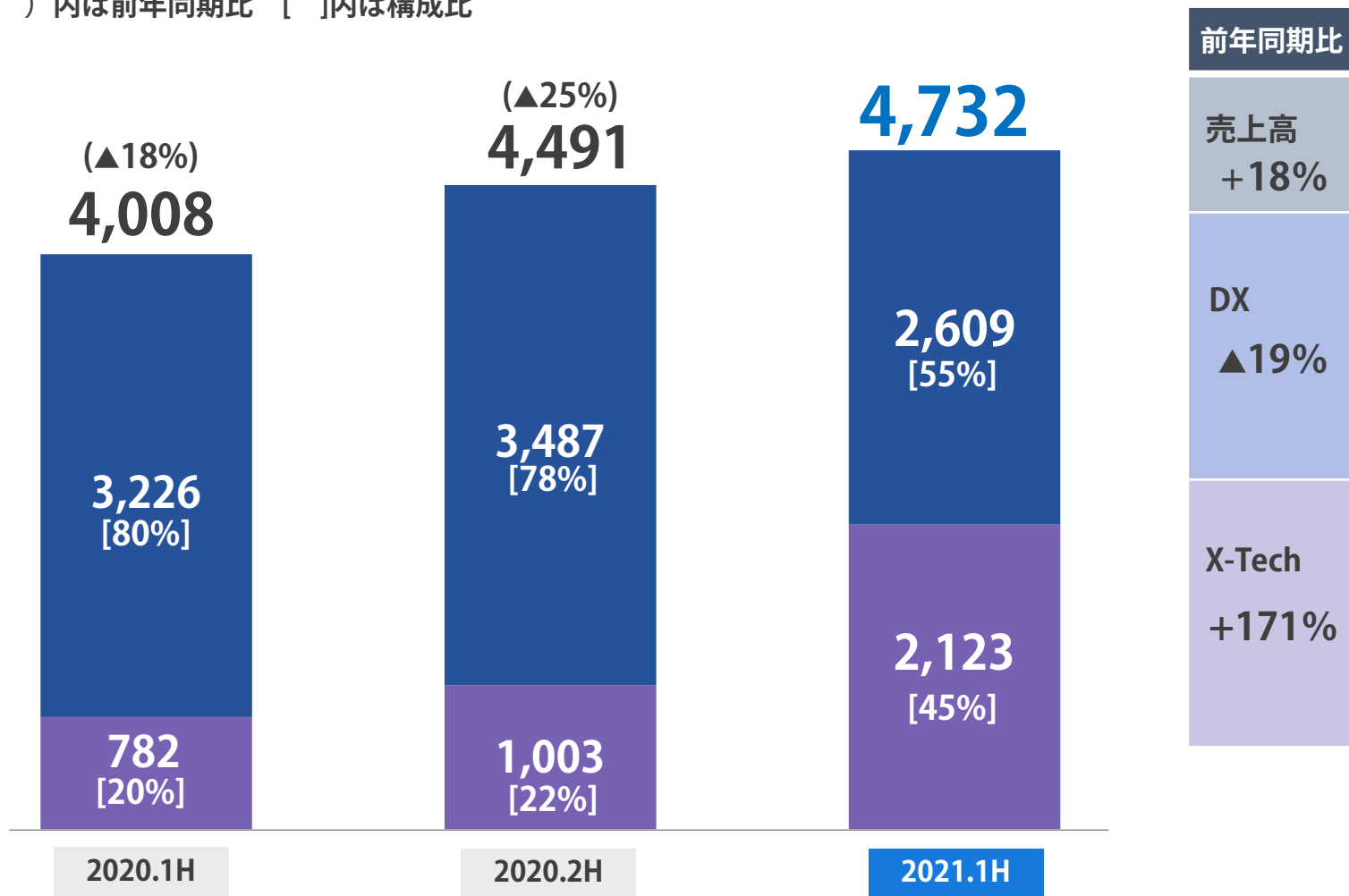
Ⅰ：2022年2月期第2四半期 決算概要

- ◆Nintendo Switch等コンテンツサービス事業を中心としたX-Tech事業の牽引により売上高は前年同期比18%増、営業利益は同20%増
- ◆(株)バリューデザインに関する持分法投資損失の発生から経常利益は前年同期比11%減となるも、同社株式一部売却に伴う特別利益等により純利益は3.6倍に増加

単位：百万円	2020.1H	2021.1H	前年同期比	
			百万円	%
売上高	4,008	4,732	+724	+18%
総利益 (%)	1,165 (29%)	1,779 (38%)	+614 (+9%)	+53%
販管費 (%)	997 (25%)	1,576 (33%)	+579 (+8%)	+58%
営業利益 (%)	168 (4%)	202 (4%)	+34 (-)	+20%
経常利益 (%)	112 (3%)	100 (2%)	▲12 (▲1%)	▲11%
特別損益	0	617	+617	—
税金等	44	▲156	▲200	—
純利益 (%)	156 (4%)	562 (12%)	+406 (+8%)	+260%

- ◆Nintendo Switch等コンテンツサービス事業が好調、X-Tech事業は前年同期比2.7倍
- ◆部材調達環境の悪化に伴うデバイス事業の低迷により、DX事業は前年同期比19%減

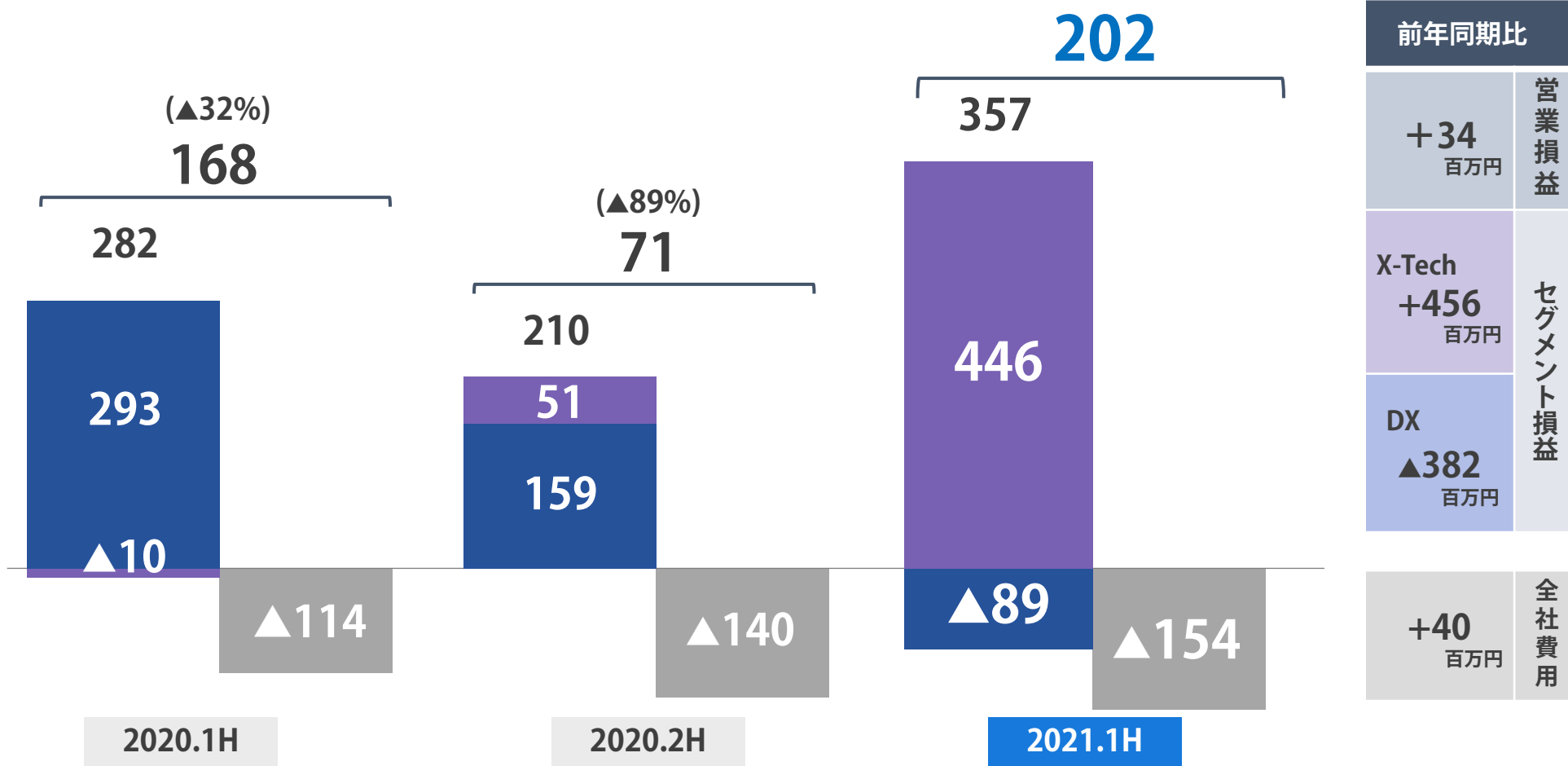
単位：百万円 () 内は前年同期比 []内は構成比



2021年度上期 セグメント別営業損益

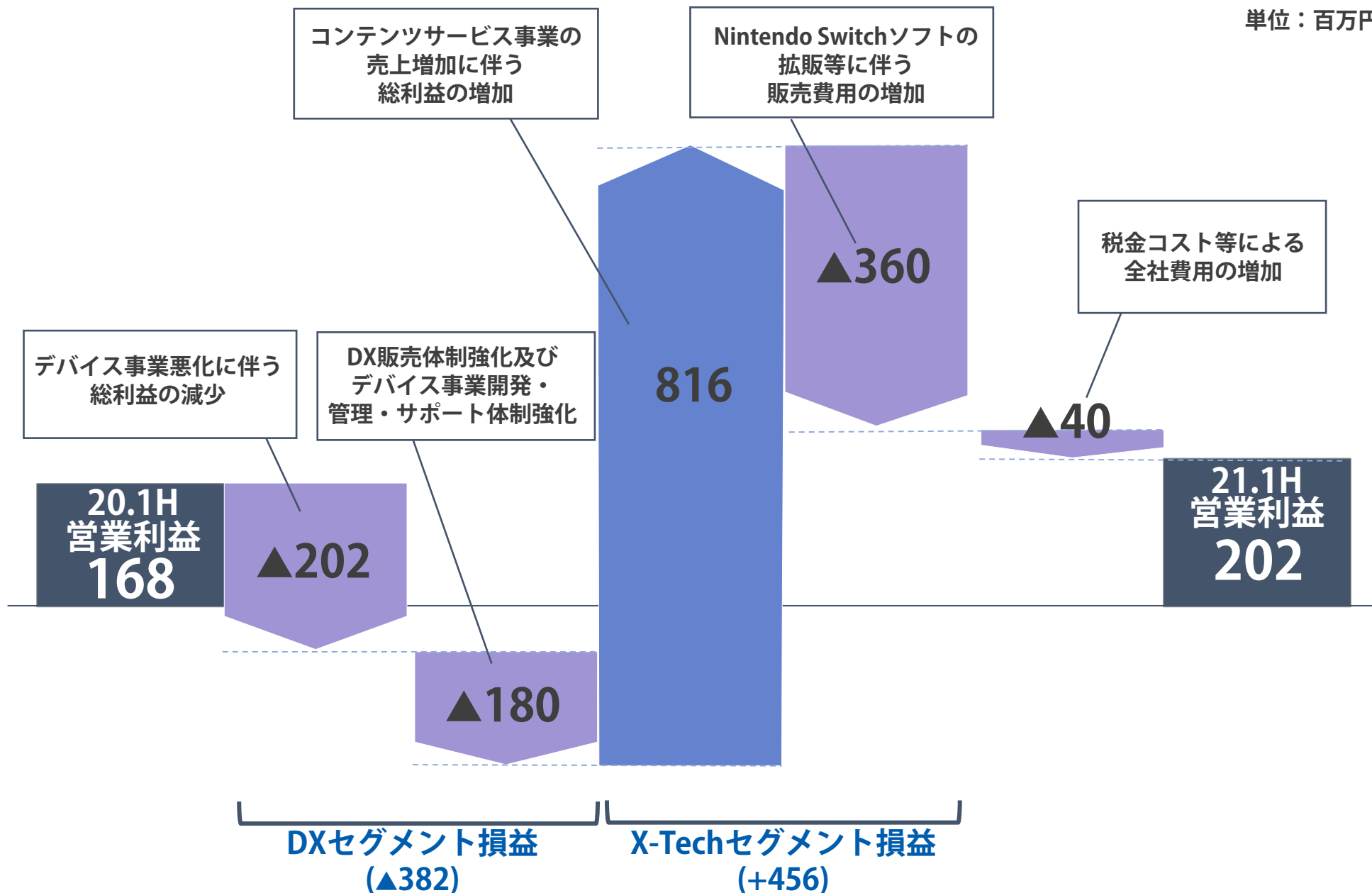
- ◆X-Tech事業はコンテンツ事業好調により446百万円にセグメント利益が拡大
- ◆DX事業はデバイス事業の不採算化継続により89百万円のセグメント損失を計上

単位：百万円 () 内は前年同期比

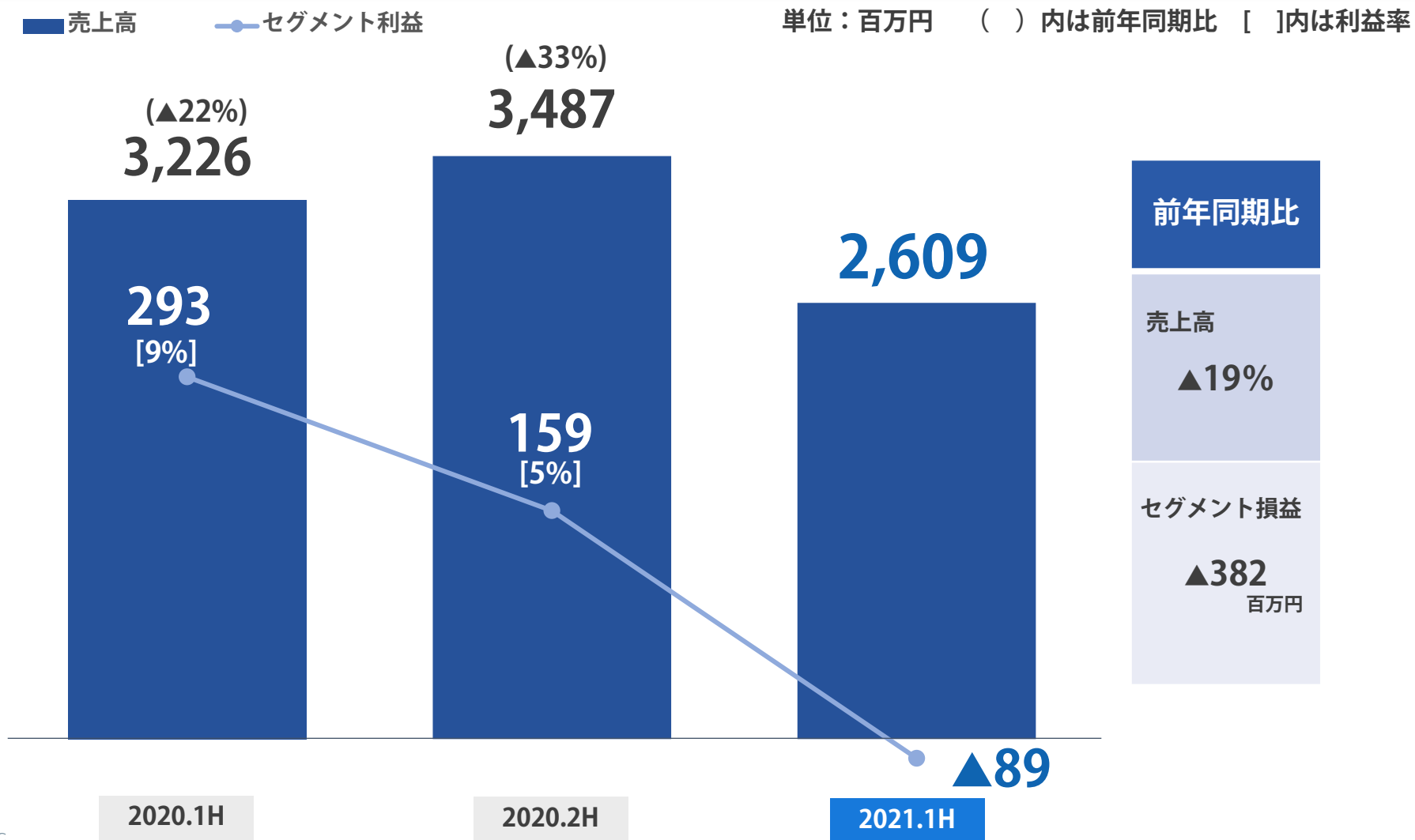


2021年度上期 営業損益増減主要因 (対前年同期比)

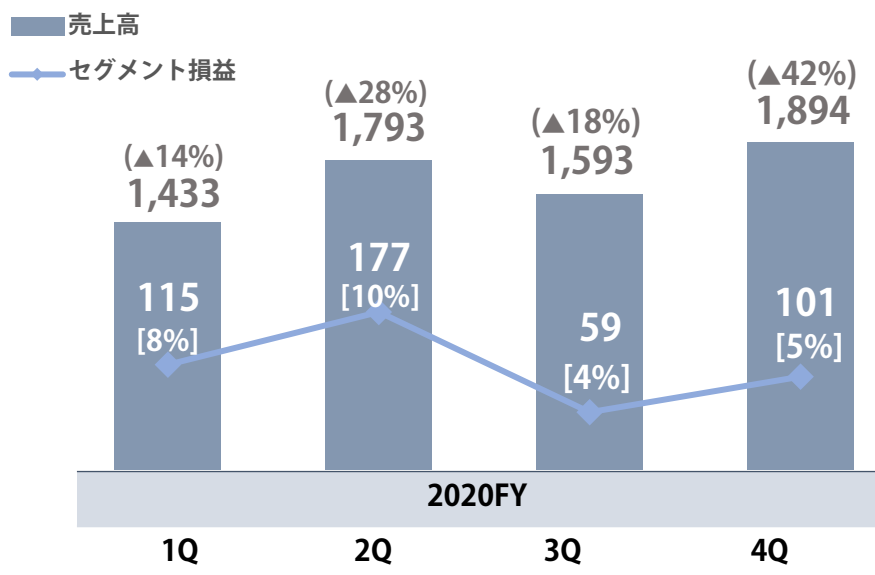
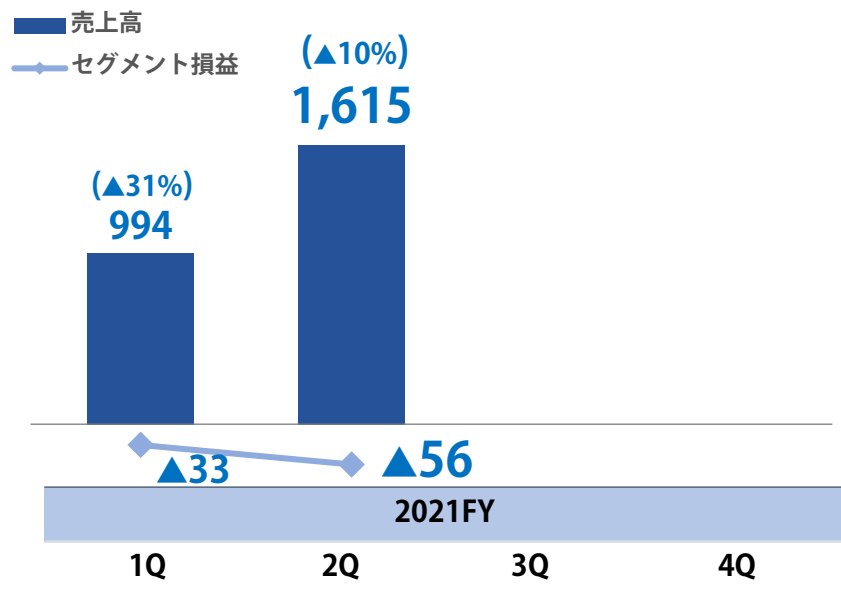
単位：百万円



- ◆半導体等部材の需給逼迫や価格高騰に伴い、デバイス事業の採算が大幅に悪化
- ◆DX、IoT関連のサービス開発案件は堅調に推移するも、DX全体としては損失を計上



単位：百万円 () 内は前年同期比 []内は利益率



2021FY 2Qサマリー

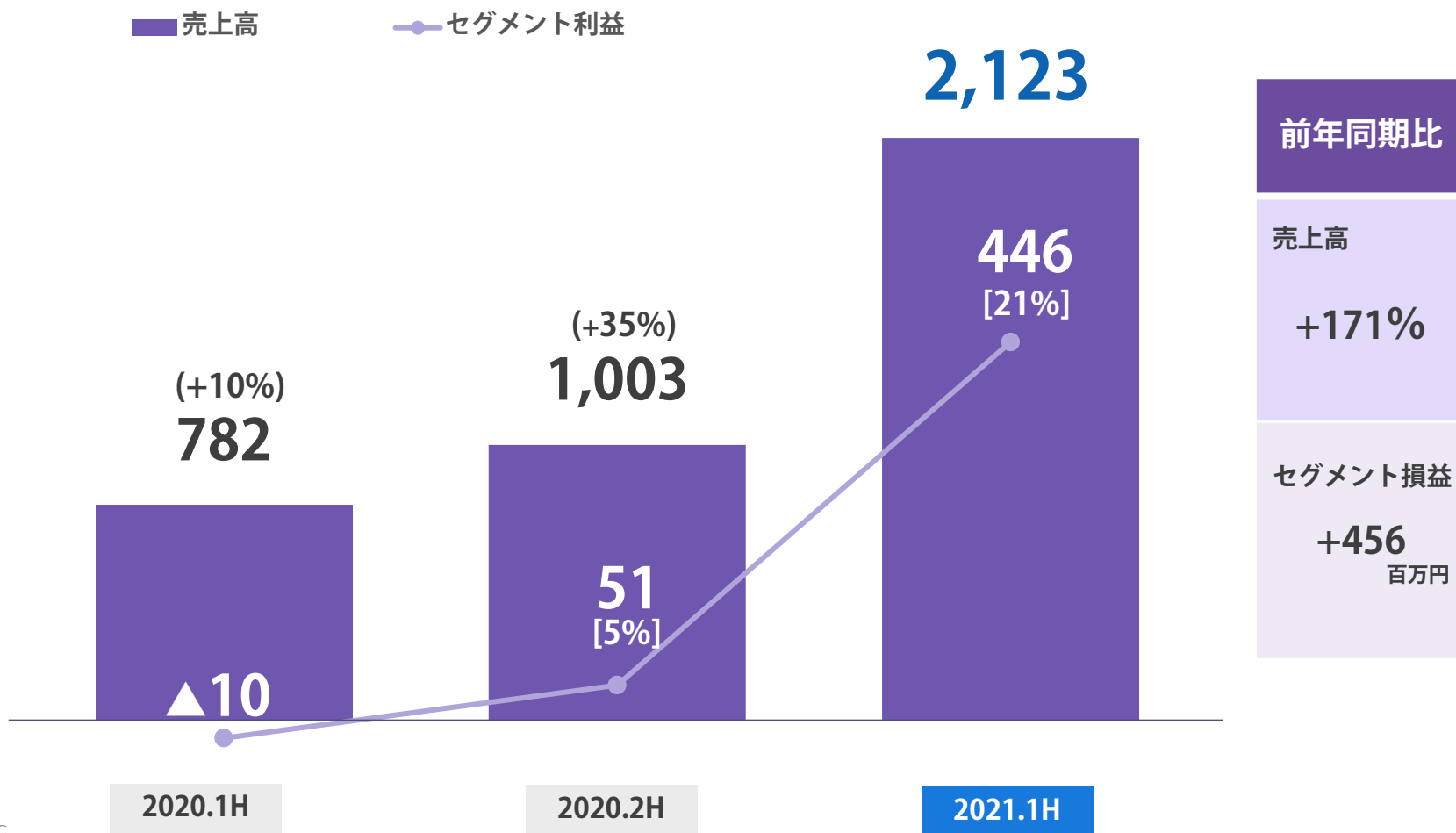
**売上高は1Qから2Qにかけて回復
セグメント損益は損失が継続**

◆デバイスソリューションは、長期化する部材調達環境の悪化により損失を計上
ただし、1Qから2Qにかけては売上高は拡大しつつあり損失幅は縮小傾向

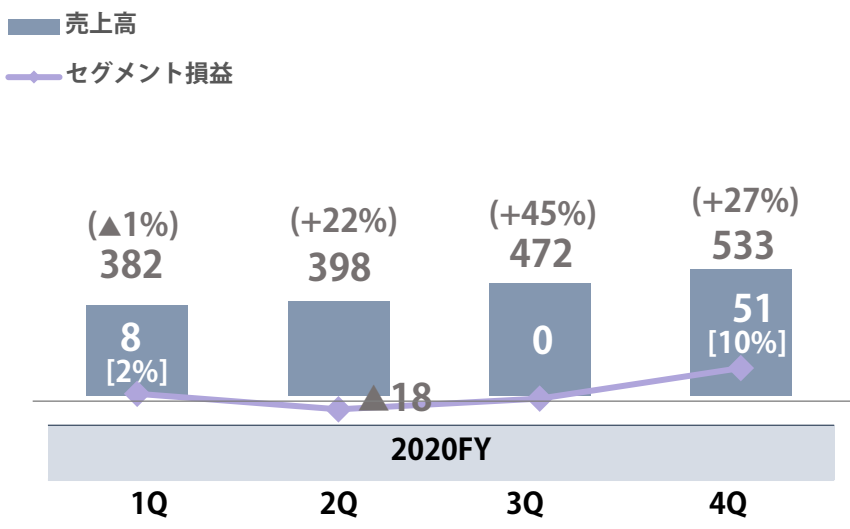
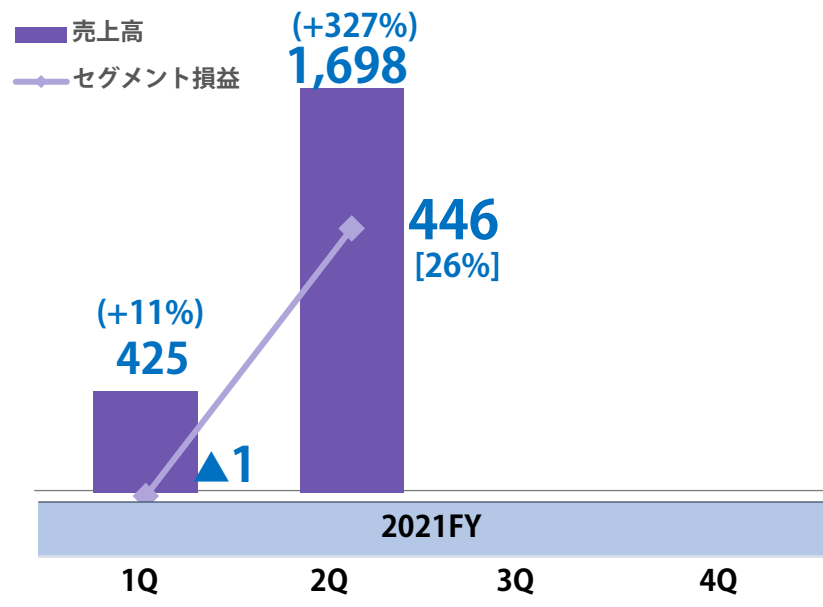
◆サービスソリューションは拡大するDX需要を受け、新規案件の受注が堅調に推移
ただし、1Qから2Qにかけては大型案件の終了等に伴い黒字幅は縮小

- ◆7月に発売したNintendo Switchソフトが爆発的なヒットにより約30万本出荷
- ◆法人向けのコミュニケーションやキャッシュレスなどのビジネス系サービスも増収で推移

単位：百万円 () 内は前年同期比 []内は利益率



単位：百万円 () 内は前年同期比 []内は利益率



2021FY 2Qサマリー

売上高は前年同期比4.3倍 セグメント損益は大幅な利益を計上

◆7月に発売したNintendo Switch「クレヨンしんちゃん『オラと博士の夏休み』」が期首計画を大きく上回り、約30万本出荷し業績を牽引

◆法人や自治体向けのデジタルコミュニケーションサービスやキャッシュレス決済サービスなどのビジネス系サービスも増収継続

貸借対照表概況

- ・ 上場株式の売却、金融機関からの借入実行等に伴い現金及び預金が増加
- ・ 有価証券の減少等による固定資産の縮小

- ・ 買掛金等の支払債務及び長期借入金増加による負債の増加
- ・ 利益増加に伴う株主資本の増加

	前年度末(21/2)	当期末(21/8)	増減
流動資産	3,995	7,981	+3,986
現金及び預金	2,050	5,353	+3,303
売掛金・受取手形	1,038	1,245	+207
前渡金	192	541	+349
その他	715	842	+127
固定資産	2,881	1,673	▲1,208
有形固定資産	204	253	+49
無形固定資産	511	304	▲207
投資その他の資産	2,165	1,115	▲1,050
資産合計	6,876	9,654	+2,778
自己資本比率	75.6%	59.7%	▲15.9%

	前年度末(21/2)	当期末(21/8)	増減
流動負債	1,457	2,415	+958
前受金	127	259	+132
短期借入金・1年内返済予定の長期借入金	349	642	+293
その他	981	1,514	+533
固定負債	186	1,431	+1,245
負債合計	1,643	3,847	+2,204
株主資本	5,154	5,735	+581
その他の包括利益累計額	44	28	▲16
新株予約権	33	43	+10
純資産合計	5,232	5,807	+575
負債・純資産合計	6,876	9,654	+2,778

JINS II : 2022年2月期 業績見通し

2021年度業績予想を上方修正

これに加えて特別利益の発生も踏まえ配当予想を修正

2021年度連結業績予想および配当予想

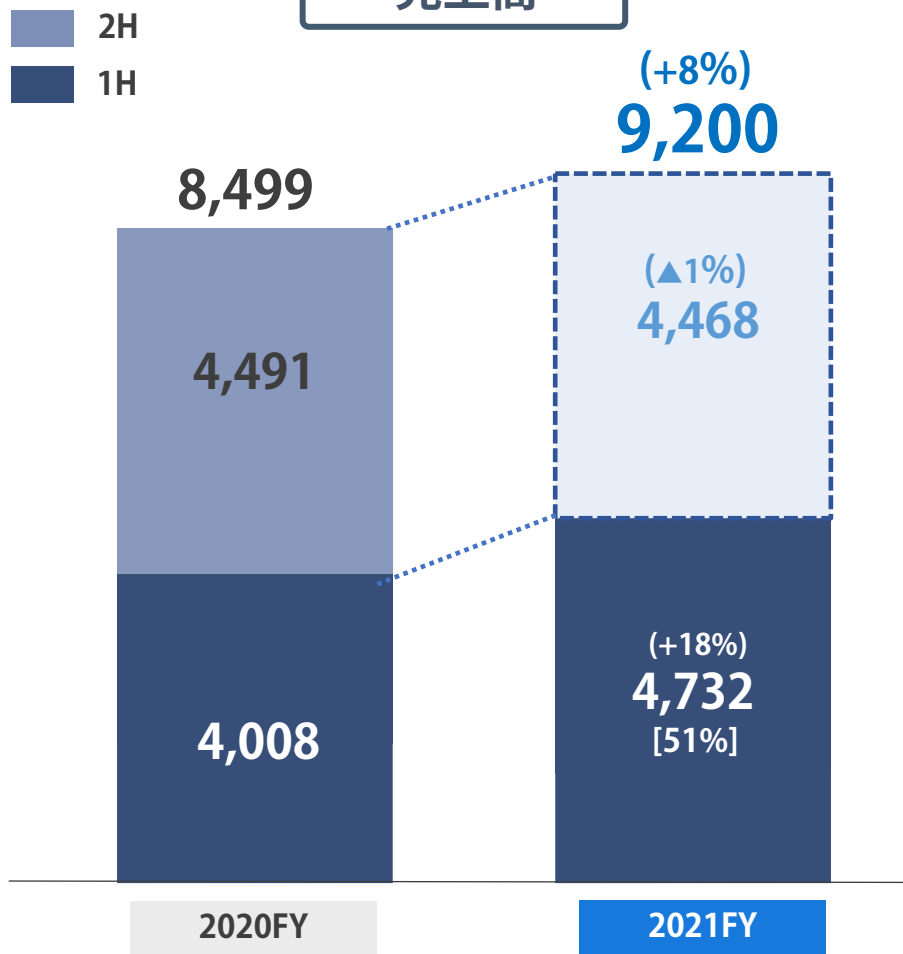
単位：百万円	前回発表	修正後		
		増減額	増減率	
売上高	8,800	9,200	+400	+5%
営業利益	270	450	+180	+67%

単位：円	前回発表	修正後	
		増減額	増減率
配当	2	10	5倍

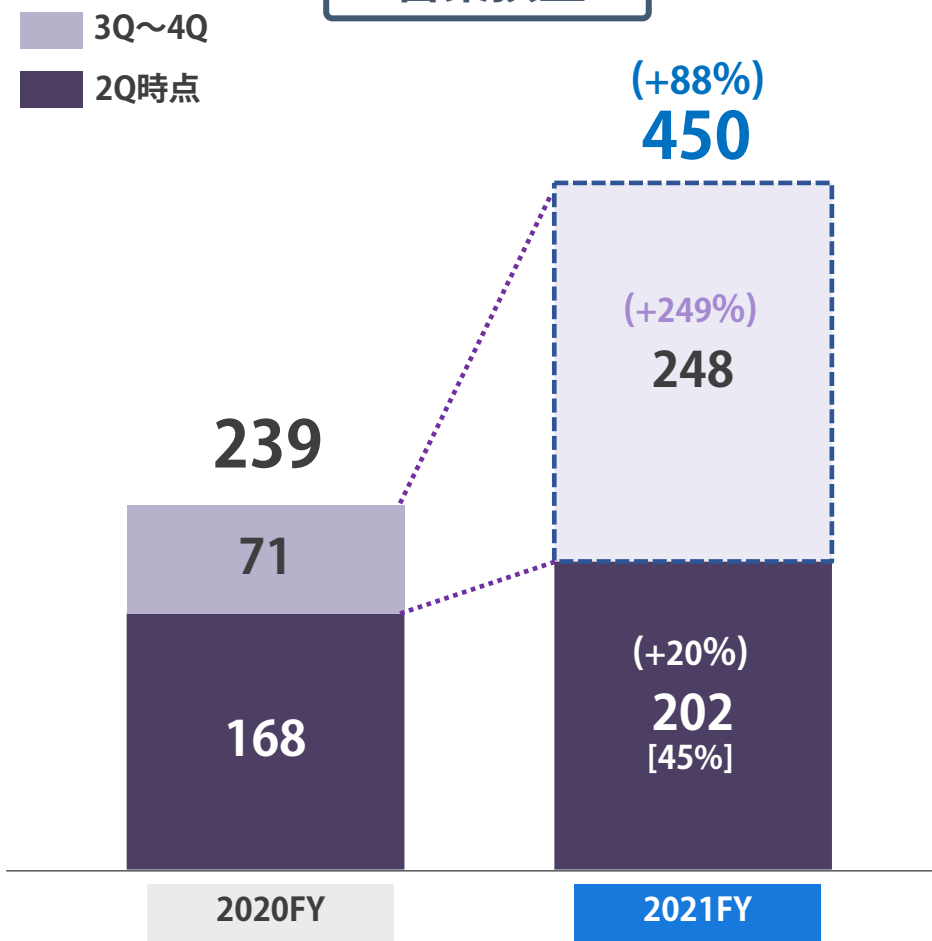
DXソリューション事業の採算化、X-Techサービス事業の好調継続により
下期はさらに営業利益拡大の見込み

単位：百万円 () 内は前年同期比 []内は進捗率

売上高



営業損益



DXソリューション事業

■デバイスソリューション復調、下期黒字浮上へ

- ・コロナ禍によるインバウンド需要の落ち込みに対応し、各種IoTデバイスやスタートアップ関連の新規デバイス需要を取り込み、下期は売上高が大きく回復見込み
- ・半導体等の需給逼迫や価格高騰に対しては、代替部材への置き換えや調達可能部品に合わせた設計見直し等の対応策を推進し、受注案件を計画通り出荷へ

■サービスソリューションも拡大基調

- ・景気回復を見込んだ既存クライアント企業からの受注が復調傾向
- ・需要が旺盛なIoT・DX等の新規案件への取り組みへの強化

X-Techサービス事業

■コンテンツ系サービス拡大への継続的取組み

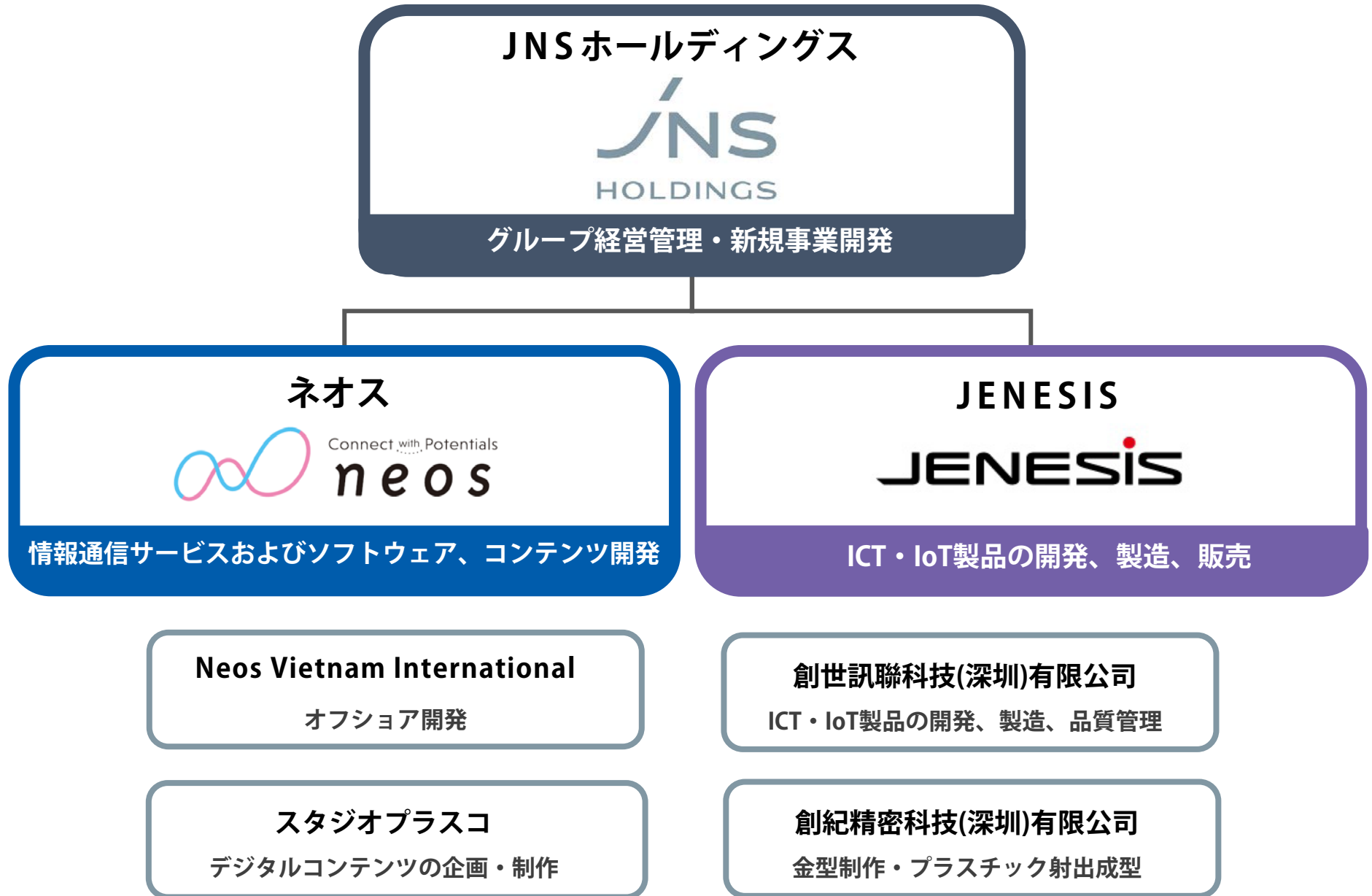
- ・「クレヨンしんちゃん『オラと博士の夏休み』」の年末商戦に向けた販促展開強化
- ・健康増進サービス“RenoBody”等、ヘルスケアサービス事業への取組み拡大
- ・GIGAスクール構想の進展に対応した教育コンテンツプロデュース事業の本格化

■ビジネス系サービスもDX需要継続により引き続き拡大

- ・法人向けのコミュニケーション&キャッシュレスサービス拡大に注力

JNS III : Appendix

所在地	東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館10F
連結従業員数 (2021年8月末現在)	450名 (国内259名・海外191名)
設立	2004年4月
上場 (証券コード：3627)	2008年5月 東証マザーズ上場 2012年1月 東証第一部へ市場変更
資本金 (2021年8月末現在)	2,383,107千円 発行済株式数 12,009,600株
主要法人株主	株式会社NTTドコモ シャープ株式会社 KDDI株式会社
連結子会社	ネオス株式会社 JENESIS株式会社 創世訊聯科技(深圳)有限公司 (中国) 創紀精密科技(深圳)有限公司 (中国) Neos Vietnam International Co., Ltd (ベトナム) スタジオプラスコ株式会社
決算期	2月



JNSホールディングス傘下の事業会社
NEOS、JENESISを軸に2つの事業を展開

DX ソリューション事業

デバイスソリューション

中国深圳のサプライチェーンを活用した、小ロット・低コスト・高品質を担保する独自の生産体制を強みに、企画・設計から開発、量産、カスタマーサポートまで対応

サービスソリューション

ICT、IoTサービスにおける企画、UI/UXデザイン、コンテンツ・サイト・アプリ・システムの開発からクラウド構築、運用までをトータルで提供

X-Tech サービス事業

コンテンツ系Techサービス

知育アプリやヘルスケア、キャラクターコンテンツなど幅広くサービスを提供
教育・健康分野での知見を活かした法人向けサービスプロデュース事業も展開

ビジネス系Techサービス

業務の効率化を実現するチャットボット等の
ビジネスコミュニケーションサービスや
キャッシュレス決済サービスを提供

※()内は対前年度末

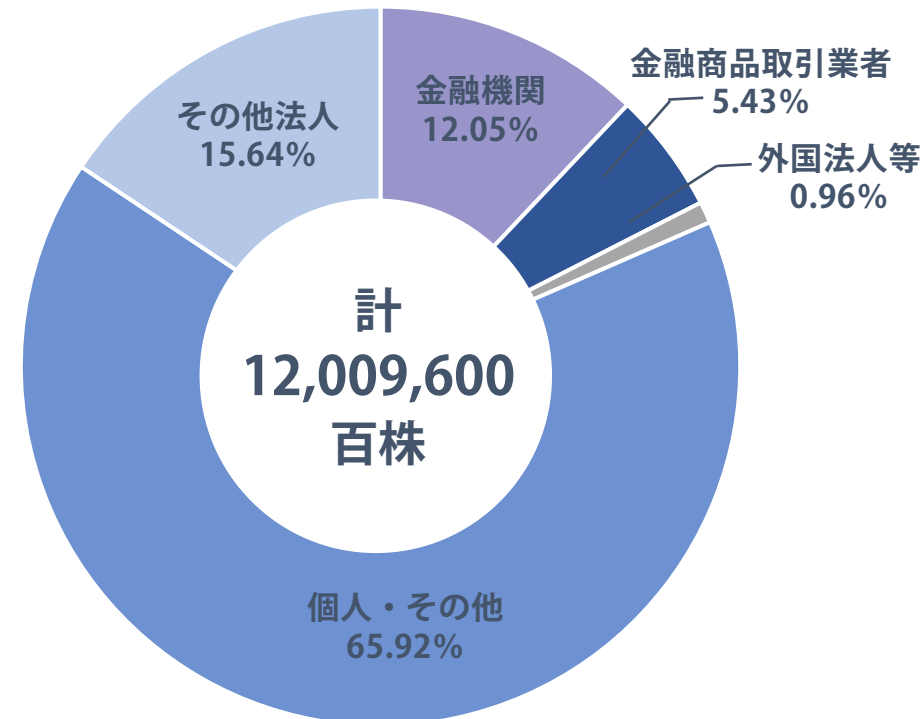
発行済み株式総数 12,009,600株
(+215,800)

株主数 6,962名
(▲602)

大株主(上位10名)

	所有株数(株)	持株比率(%)
池田 昌史	1,877,800	15.64
株式会社NTTドコモ	1,020,000	8.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	646,200	5.38
シャープ株式会社	360,000	3.00
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	215,100	1.79
井川 等	210,300	1.75
KDDI株式会社	210,000	1.75
株式会社SBI証券	202,954	1.69
藤岡 淳一	186,400	1.55
楽天証券株式会社	157,000	1.31

株式所有者別分布





Leap walls, Create the Future

“技術”と“感性”で
壁を越える、未来を創る

DX／X-Techのイノベーティブな技術と感性で
社会の発展と未来に貢献してまいります

 **IR** メールニュース
【購読無料】

当社IRに関する最新情報を
タイムリーにお届け致します

<https://www.jns.inc/ir/>